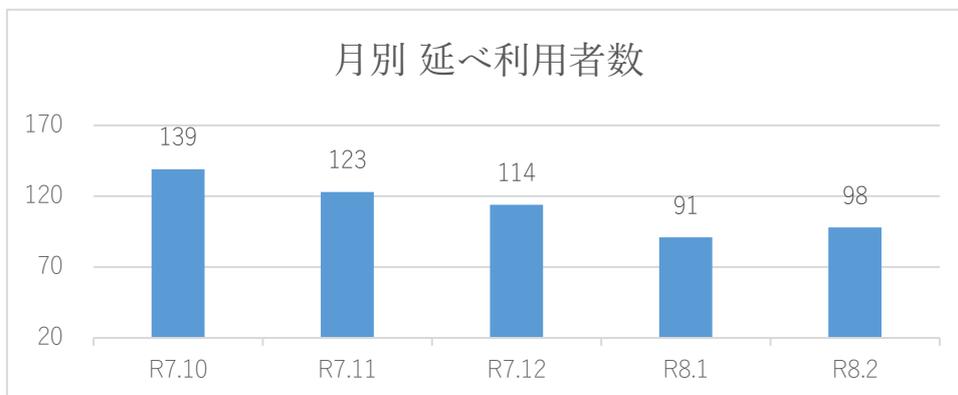


## ■八幡平地区デマンド型乗合タクシーの利用状況について（報告）

○利用登録者数（令和8年3月1日時点）：63名

○利用実績 565人（R7.10-R8.2） 1日平均5.9人



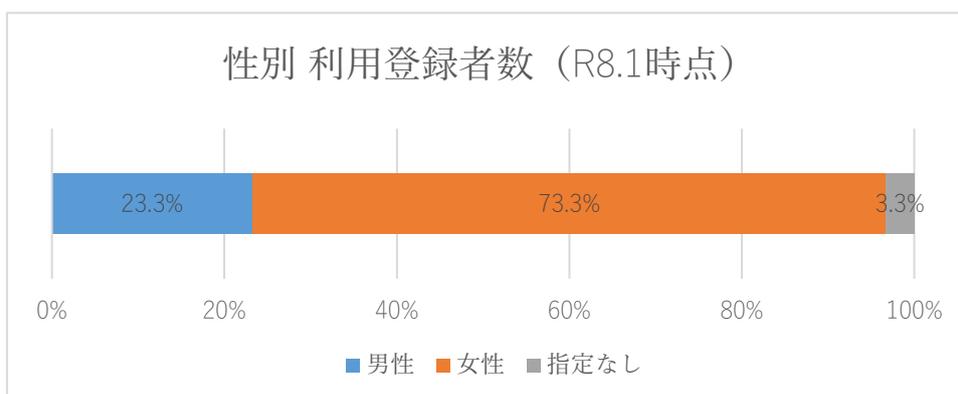
→延べ利用者数は、運行開始した R7.10 以降 R8.1 まで減少傾向。

### ○月別 運賃種別利用者数（延べ人数）

年月	都度運賃	1日乗車券	定額運賃	福祉タクシー券
R7.10	28	20	4	0
R7.11	24	28	2	0
R7.12	20	24	2	0
R8.1	18	12	3	0
R8.2	14	21	2	1
計	104	105	13	1

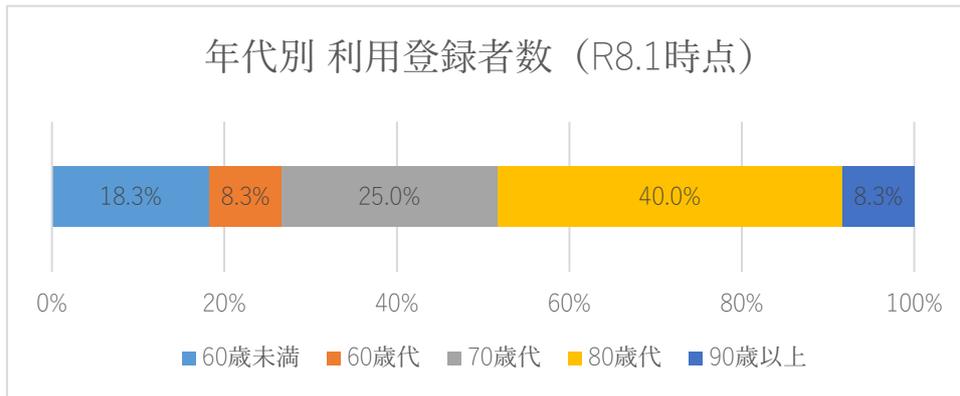
→月ごとに変動はあるものの、都度運賃と1日乗車券による利用者数は同程度である。

### ○性別 利用登録者数（R7年12月末時点 n=60）



→利用登録者の性別割合は、女性が73.3%と多く、男性は23.3%である。

## ○年代別 利用登録者数 (R7 年 12 月末時点 n=60)



→80歳代が40.0%と最も多く、次いで70歳代が25.0%となっている。

## ○はちタク利用者アンケート結果と分析

### <運転手や配車受付係の対応や接し方>

- ・運転手や配車受付係の対応や接し方について「非常に良い」「まあ良い」を合わせると92.3%となり、利用者の満足度は非常に高い状況である。

### <デマンドと循環バスの乗り継ぎの利便性>

- ・「やや不満である」との回答が46.2%と最も多く、利便性について改善の余地がある。
- ・「非常に便利である」「まあ便利である」を合わせても30.8%にとどまり、利便性向上が今後の課題といえる。

### <運行内容の満足度>

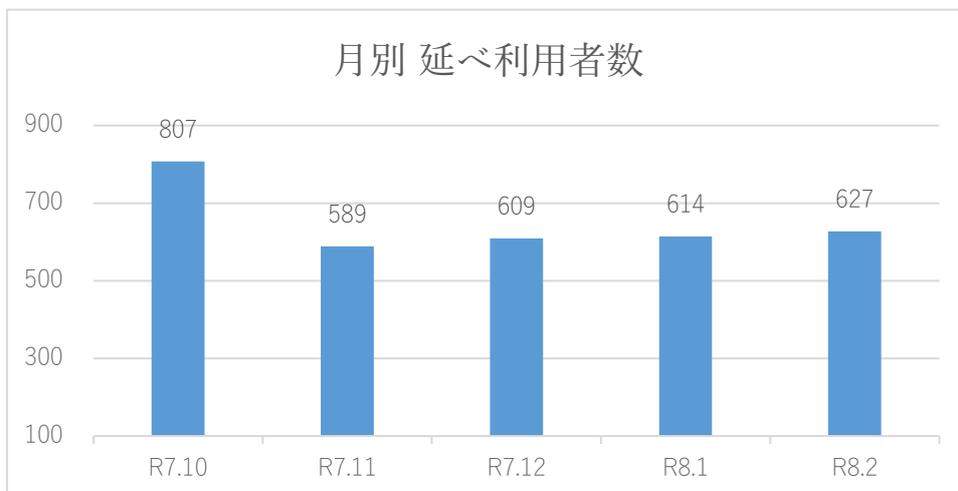
- ・「大変満足している」「まあ満足している」を合わせると61.6%となり、過半数の利用者は運行内容に満足していると言える。一方で、「やや不満である」という回答が30.8%存在し、改善の余地がある。
- ・運行内容の満足度と利便性を比較すると、利便性に対する不満が運行内容に対する満足度を押し下げている可能性がある。

### <サービスの必要性、今後の利用意向>

- ・サービスの必要性について、「とてもそう思う」「そう思う」を合わせると84.6%となり、多くの利用者がサービスを必要としている。
- ・今後の利用意向については、「ぜひ利用したい」「利用したい」を合わせると92.3%となり、サービスの必要性を感じている人が、今後も積極的に利用したいと考えている。
- ・サービスの必要性を感じている人が多い一方で、今後の利用意向が100%ではないことから、サービス内容に改善の余地がある。

## ■八幡平循環線の利用状況について

○利用実績 3,246人 (R7.10-R8.2) 1日平均5.58人



→10月は800人台、11月以降は600人台で推移。